



<施設の概要>
 所在地:福岡県北九州市小倉北区京町、浅野地区
 建築主:北九州市
 設計:(株)日建設計
 (株)アプル総合計画事務所
 規模:総延長約300m
 竣工:平成10年3月

安全性や景観演出など様々な要請に応える コミュニティスペースの照明環境

Illumination of the deck is designed to reflect various requests for a community space such as safety and a harmony with cityscape

様々な都市機能を結び 次代へ向けた都市通行施設

Urban passageway not only connects various urban buildings with the station but embodies a public walkway looking into the next generation

現在、JR小倉駅周辺には、北九州市国際会議場、AIM(アジア太平洋インポートマート)をはじめ、オフィス街、様々な商業施設やホテルが広がり、一大国際都市の様相を呈しています。ペDESTリアンデッキは、これら都市施設と小倉駅前とを結び、安全性と機能性を追及した都市通行施設として建設されました。

ペDESTリアンデッキの照明設備は、通行施設としての安全性と、コミュニティゾーンとしての公共性への配慮を、様々な照明手法を用いることで実現しています。北口デッキ上部では、40W蛍光灯をベース照明として平均照度100~150 lxを得ると共に、歩行者への配慮として、バンチングメタル内に照明器具を収納し不快なグレア等が発生しないよう、良好な照明環境の確保につとめています。北口デッキ下部には、100Wメタルハライドランプダウンライトをベース照明に、また円形吹抜部には高演色形高圧ナトリウムランプブラケットを設置して、白色と暖色のコントラストで新鮮な印象を与えています。南口デッキ下部には、圧迫感を取り除くため、全方向配光器具を設置し天井全体を明るくしています。光源である150W HQIランプと27Wコンパクト蛍光灯の明るさの違いは、明かり取り(ガラスブロック)を通してデッキ上部に優しく浮かび上がり、景観演出の手段としての照明の存在がアピールされています。

照明コンセプト

Lighting design concept

安全性はもちろん、歩行者が光を楽しむ事も考慮した照明環境を演出。



南口ペDESTリアンデッキ下 デッキ自体の圧迫感を感じさせないよう天井全体を明るくしている
 Under the pedestrian deck at south exit



南口ペDESTリアンデッキ上 ガラスブロックを通して浮び上る光の明るさにも変化をつけリズムミカルな雰囲気となっている
 View from above the pedestrian deck at south exit



北口ペDESTリアンデッキ下 光色が異なるブラケットにより空間にアクセントをつけている
 Under the pedestrian deck at north exit



北口夜間景観
 View of north exit at night



北口ペDESTリアンデッキ上
 View from above the pedestrian deck at north exit
 バンチングメタル内の蛍光灯器具で十分な鉛直面照度を得ている

主要照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ
北口	デッキ上	蛍光灯器具 防湿防雨形	FT - 41082NK	724 40Wメロウ5N(蛍光灯)
	円形開口部	HIDブラケット	特注器具	29 150Wネオカラー(高演色形高圧ナトリウムランプ)
	デッキ下	HIDダウンライト	DD - 1049Q(S)	198 150Wネオカラー(高演色形高圧ナトリウムランプ) 100W HL-ネオハライドランプ(高効率形メタルハライドランプ)
南口	ガラスブロック下	全方向配光器具	特注器具	22 150Wネオアーク小形高演色メタルハライドランプ)
			特注器具	114 27Wユーライン2(コンパクト蛍光灯)
	高欄内	コンパクト蛍光灯器具	特注器具	30 18Wユーライン2(コンパクト蛍光灯)